

## 商品名 タンニン酸アルブミン「三恵」 添付文書情報

一般名	タンニン酸アルブミン	薬価	7.50
規格	1g	区分	
製造メーカー	三恵薬品	販売メーカー	三恵薬品
薬効	2. 個々の器官系用医薬品 23. 消化器官用薬 231. 止しゃ剤, 整腸剤 2312. タンニン酸系製剤		

### タンニン酸アルブミン「三恵」の用法・用量

タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3～4gを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

### タンニン酸アルブミン「三恵」の効能・効果

下痢症。

### タンニン酸アルブミン「三恵」の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

- 重大な副作用：
  - ショック、アナフィラキシー（いずれも頻度不明）：呼吸困難、蕁麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現することがある。
- その他の副作用：
  - [1] 長期・大量投与：（頻度不明）肝障害。
  - [2] 消化器：（頻度不明）便秘、食欲不振。

### タンニン酸アルブミン「三恵」の使用上の注意

#### 【禁忌】

- 出血性大腸炎の患者〔腸管出血性大腸菌（O157等）や赤痢菌等の重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある〕。
- 牛乳アレルギーのある患者〔ショックまたはアナフィラキシーを起こすことがある〕。

3. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者〔本剤投与により過敏症状があらわれることがある〕。
4. 経口鉄剤投与中の患者。

### 【合併症・既往歴等のある患者】

1. 細菌性下痢の患者：治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しない（治療期間の延長をきたすおそれがある）。

### 【肝機能障害患者】

肝機能障害患者：肝障害を悪化させるおそれがある。

### 【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

### 【授乳婦】

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

### 【高齢者】

減量するなど注意すること（一般に生理機能が低下している）。

### 【相互作用】

1. 併用禁忌：経口鉄剤＜フェロミア、フェロ・グラデュメット、インクレミンシロップ、フェルムカプセル＞〔相互に作用が減弱することがあるので、併用しないこと（鉄と結合し、タンニン酸鉄となり、タンニン酸による取れん作用が減弱する）〕。
2. 併用注意：ロペラミド塩酸塩＜経口＞〔ロペラミド塩酸塩の効果が減弱するおそれがあるため、投与間隔をあけるなど併用に注意すること（本剤がロペラミド塩酸塩を吸着することが考えられる）〕。

### 【適用上の注意】

1. 薬剤調製時の注意：
  - 1) アルカリにより分解する。
  - 2) 抱水クロラルやヨウ化物と混合すると湿潤する。

### 【取扱い上の注意】

開封後は、遮光して保存すること。

### 【保管上の注意】

室温保存。



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.